

中国語における二種類の他動詞受動構文に関する研究

李 麗 萍、上 原 聡

要 旨

中国語では近年、従来の受動構文とは異なり、「実際にはXではないのだが、Xだということにされてしまう」(A類)や「Xしたくないのに、Xさせられる」(B類)という否定的な意味を表す新型受動構文が広く見られるようになった。新型受動構文は自動詞や名詞などをとることもできるが、他動詞が現れると従来の受動構文と形式的には区別が付かない。本稿は実例に基づいて二つの「被+X_{他動詞}」の、意味的、形式的小および語用論的な相違を示した上で、新型受動構文をさらに詳しく分析し、「Xされたことにされた」のような二重の受動性を持つ特殊な新型受動構文にはA類しかないこと等を明らかにした。

キーワード：受動構文／他動詞／新型受動構文

1. はじめに

周知のとおり、現代中国語において通常の受動構文になることができるのは他動詞のみである(雷仁有, 包朗2013:32)¹。

(1) 卓玛被解放军救活了。(刘月华他1991:644) [通常]

〈チュオマは解放軍に命を救われた。〉(刘月华他1991:644)

(2) 忽然, 门被撞开了。(刘月华他1991:643) [通常]

〈突然ドアがパターンと開けられた。〉(刘月华他1991:643)

(3) 我的衣服被钉子挂了一个大口子。(刘月华他1991:646) [通常]

〈私の服は釘に引っかかって大きな穴が開いてしまった。〉(刘月华他1991:646)

通常の受動構文では、主語は述語動詞の表す行為の受け手であり、“被(被る)”²の目的語は仕手である。また“被”の後に目的語がない場合(例(2))もある(刘月华他1991:643)。さらに、“多价性(多価性)”“动结性(結果性)”³という意味特徴を持つ他動詞が述語動詞のプロトタイプであり、他の動詞は結果を含む補語(例(1)-(3))が後続しなければ受動構文にならない(范晓2006:79)。意味上では、中立的意味(例(2))および利益(例(1))を表すこともあるが、主に受け手としての“不如意(思うとおりにならない)”“不希望(望ましくない)”“受损(損失を受ける)”という感情的色彩(例(3))を表す(范晓2006:87)。話し言葉では、例(4)-(7)のように“叫(呼ぶ)、让(譲る)、给(与える)”⁴もまた受動の意味を表すことができる。これらを含む受動文の構造は“被”を用いた受動文と基本的に同じであるが、“叫、让”はその目的語を欠くことはできず、“给”

は“被”と同様にその後に目的語があってもなくてもよい（刘月华他1991:649）。

（4）《西游记》叫小张借走了。（刘月华他1991:649）〔通常〕

〈『西遊記』は張君に借りていかれてしまった。〉（刘月华他1991:649）

（5）歪风邪气，全让她给挡住了。（刘月华他1991:649）〔通常〕

〈不正腐敗は彼女に一掃された。〉（刘月华他1991:649）

（6）大兰和小兰都给他说了。（刘月华他1991:649）〔通常〕

〈大蘭と小蘭は二人とも彼の話に笑わされてしまった。〉（刘月华他1991:649）

（7）我的杯子昨天给打破了。（刘月华他1991:649）〔通常〕

〈僕のコップは昨日割られてしまった。〉（刘月华他1991:649）

しかしながら、数年前から“被自杀（自殺したことにされる・自殺させられる）”、“被就业（就職したことにされる・就職させられる）”など主に自動詞から構成された「被+X」構文の新用法がよくインターネットや新聞に現れるようになった（王学群2012:269-270）。

このような新型受動構文には、“被/叫/让/给”などの受動標識のうち、“被”しか用いられず、そして他動詞（例（8）、（9））のみならず、通常は受動構文にならない自動詞（例（10））、名詞（例（11））、形容詞（例（12））、否定を含む動詞句（例（13））、自動詞の修飾構造（例（14））、疑問詞（例（12））、数詞（例（15））、字母詞（例（16））なども入る（王妍2011、陈全2012、王春杰2012）。また、意味から分類すると異なる二つのタイプがあり、例文（8）、（10）、（12）、（15）、（16）のように“非现实性（事実ではないこと）”を表す“被认定（Xではないが、Xだとされる）”類および、例文（9）、（10）、（11）、（13）、（14）のように“非意愿性（意志ではないこと）”を表す“被强迫（Xしたくないが、Xさせられる）”類がある（王淑华、杨仁君2011:47、池昌海、周晓君2012:60、杨巍2012:91-92）。本稿では、それぞれA類、B類と呼ぶことにする。王淑华、杨仁君（2011:47-48）によれば、A類の表す非现实性とは「被+X」の「X」の表す出来事が事実ではないということであり、B類の表す非意愿性とは「X」の表す出来事がそれに関連する主体の意図によるものではないということである。本稿では、このような非现实性および非意愿性を一括して話者の否定的判断と呼ぶ。新型受動構文の“被”は、“被动标记（受動標識）”というよりもむしろ“否定标记（否定標識）”と呼んだ方がよいという見方もある（王淑华、杨仁君2011:59）。さらに、沈家煊（2010:94）は新型受動構文の中には、例（8）“被采访（受動標識+インタビューする）”（被（说成）被采访（インタビューされたことにされた））のような隣接する二つの“被”が一つになったと考えられる類も存在すると指摘している。本稿では、意味的に“被”を一つしか持たない新型受動構文を普通類と呼び、沈家煊の説に従って“被采访”のように“被”を二つ持つと考えられるものを特殊類と呼ぶことにする。

- (8) 郭美美之母自曝炒股发家 郎咸平“被采访”(凤凰视频2011-08-04) [新型、特殊 A 類]
 〈株の売買によって金持ちになったと郭美美的母は自ら暴露した。郎咸平は（本当は郭美美にインタビューした側なのだがネットユーザーには郭美美に）インタビューされた（ようなものだ）と言われている。〉
- (9) 手术台上动手脚 患者无奈被消费（广东电视台2013-09-06）[新型、B 類]
 〈手術時に（医者が）余計なことをするため、患者は（そう望んでいないのに）しかたなく出費を強いられる。〉
- (10) 从“被自杀”、“被自愿”到“被就业”，一路走来没有什么不可以“被如何”的，除了还没有想到的。（东南新闻网2009-07-21）[新型、普通の A 類と B 類]
 〈自殺したことにされるという意味の「被自殺」、志願させられるという意味の「被自願」から、就職したことにされるという意味の「被就業」まで、まだ思いつかないものを除いて、何でも「被」に後続することができる。〉
- (11) 看病“被手术”？患者心慌慌（民生论坛2013-04-24）[新型、B 類]
 〈病院で（そう望んでいないのに）手術を受けさせられた？患者は不安がっている。〉
- (12) 中国军力“被”强大 终将误国误民！
 （戴旭新浪博客2013-11-20）[新型、普通の A 類]
 〈（事実はそうではないのに）中国の軍事力が強いと（欧米諸国に）言われていることは、最終的に国や国民の利益を損なうであろう。〉
- (13) 在现实生活中，有的领导故意制造“被不明真相”的群众，目的又是为了什么呢？
 （胡荣荣凤凰网博客2009-08-31）[新型、B 類]
 〈現実生活において、わざと群衆に真相がわからないようにさせるリーダーがいるが、その目的はなんだろう。〉
- (14) 员工离开公司，要么是主动辞职不干，要么是被公司辞退，再或者是双方协商解除劳动合同。园区一家公司的员工却说，他们十几个人是被公司主动辞职的。
 （名城新闻网2011-11-22）[新型、B 類]
 〈社員が会社を辞めたのは、自発的に辞めたか、或いは会社に解雇されたか、または双方協議を経て労働契約を解除したかであるが、園區のある会社の社員たち十数人は会社に強制されて自ら辞職したと言った。〉
- (15) 教育部称67% 公众赞成汉字调整 网友调侃被67%
 （中新网2009-08-25）[新型、普通の A 類]
 〈教育部によれば67%の国民は漢字調整に賛成だというのが、（本当は67%ではないのに）67%（の国民が賛成する）といわれてしまったとネットユーザーはからかう。〉
- (16) 中国“被 G 2”不可随意相信美国花言巧语（新华网2009-08-05）[新型、普通の A 類]
 〈中国は（米国の学界に米国と）G 7 の主要二カ国をなしているということにされているが、軽率に米国の甘言を信じてはいけない。〉

例(10)－(16)のような自動詞、名詞、形容詞、否定を含む動詞句、自動詞の修飾構造、疑問詞、数詞、字母詞の受動構文が新型受動構文であることは容易に判断できるが、例文(8)、(9)のように、“被”の後に目的語がなく、他動詞が「X」の位置に来る場合、新型受動構文であるか通常の受動構文であるかを判断することは容易ではない。それでは、これら“同形异构(形式は同じだが、構造は異なる)”の他動詞受動構文はどのように区別できるのだろうか。

本稿はインターネットや教科書、コーパスから収集したデータを用い、現代中国語における新型受動構文「被+X_{他動詞}」を通常の受動構文「被+V_{他動詞}」と比較した上で、その意味的・形式的及び語用論の特徴から両者を区別する方法を検証し、さらに新型他動詞受動構文を更に分類することを試みる。

2. 先行研究及び問題点

邵平和、刘翠英(2010:109)は主語が動作主かつ、“被”の目的語が明示できず、“被认定”という意味があるものが新型受動構文であり、主語が受動者で、“被”の目的語が明示でき、“遭受(遭遇する)”という意味を持つのが通常の受動構文であるとしている。また、新型受動構文に入る単語(他動詞を含む)は全て通常の受動構文に入ることが出来ない(刘杰、邵敬敏2010:28)とする指摘もある。しかし例(8)、(9)からわかるように、これらは実際の例文と矛盾している。まず、邵平和、刘翠英(2010)に従うと、例(8)のように主語が受動者である文や、例(9)のように“被强迫”の意味を有している受動文を新型であると判断できなくなる。また、刘杰、邵敬敏(2010)の指摘に反して、例(8)、(9)の動詞“采访”、“消费”はともに通常の受動構文にも現れる。すでに孙莎莎(2011:31)が指摘しているように、“录取(採用する)”, “统计(統計する)”, “喜欢(好く)”などの他動詞は「NP1+ 被 + 他動詞」という形式で通常の受動構文にも新型受動構文にもなりうる。つまり“同形异构”になるのである。

この“同形异构”の場合について、孙莎莎(2011:31)は文脈と認知的視点から論じ、新型か否かは、“被强迫”、“被隐瞒(隠される)”, もしくは“结果非本真(結果が事実ではない)”という語用論の意味を持つかどうかによって判断すべきとしている。“被强迫”は本稿ではB類、“结果非本真”は本稿ではA類として扱うが、筆者は“被隐瞒”という意味基準は不要と考える。

また、郑霖(2012:32)は文の表す“事件框架(出来事構造)”が“真实性(事実であること)”を持つのが通常の受動構文であり、逆に出来事が“非真实性(事実ではないこと)”を持つのが新型受動構文であると主張している。だが、“事件框架”という概念そのものが明確ではない上に、“非真实性”を持つのが新型だとしても、“真实性”があるものがすべて通常の受動構文であるわけではない。たとえば、例(8)は“郎咸平被采访(郎咸平は郭美美にインタビューされた)”という出来事が事実ではないため、新型受動構文であると判断できる。しかし、例(9)の場合、“患者被消费(患者はそう望んでいないのに出費を強いられた)”という出来事が事実であるにもかかわらず、通常の受動構文ではなく新型受動構文である。この基準では、例(9)のような“被强迫”の意味を有している受動文は新型ではないことになってしまう。以上の先行研究で提案された区別

基準には問題があり、よりの確な判断基準を採す必要がある。

そのために、本稿では先行研究を踏まえ、実際のデータをもとに、まず両者の相違点、すなわち新型他動詞受動構文の特徴を明らかにする。その上で、新型と通常他動詞受動構文を区別する基準を提案する。

3. 新型他動詞受動構文の特徴

3. 1 意味的特徴

他動詞受動構文の具体例には以下のようなものがある。

- (17) 他的钱包被小偷偷去了。(刘月华他1991:646) [通常]
 〈彼の財布はスリに取られてしまった。〉(刘月华他1991:646)
- (18) 我“被利用、被消费”了。(和讯2013-06-10) [通常]
 〈私は(彼に)利用され、使われた。〉
- (19) “被消费”成家电维修最大争议(东南早报2012-02-28) [新型、B 類]
 〈(市民が店主に修理してもらえず新しいものを)買わされることは、家電修理業界の最も大きな問題になっている。〉
- (20) 是买了房，还是被买了房？(搜房网2013-11-01) [新型、普通の A 類]
 〈(彼は本当に)家を買ったのか、それとも(家を買っていないのに友達に)買ったことにされたのか？〉
- (21) 倾听群众意见、反映群众呼声，集中群众智慧，不能让人民“被代表”。
 (四川日报网2012-12-07) [新型、特殊 A 類]
 〈人民の意見に傾聴し、人民の声を反映し、人民の智恵を集め、人民が(全人代の代表に代表されていないのに)代表されていることにされるということがあってはいけない。〉
- (22) 艺术家既不能代表别人又不能被代表。(北京大学コーパス) [通常]
 〈芸術家は他人を代表することができないと同時に、(他人に)代表されることも出来ない。〉

例 (17) の“被偷(盗まれる)”、例 (18)、(19) の“被消费(受動標識+消費する)”、例 (20) の“被买(買われる)”、例 (21)、(22) の“被代表(受動標識+代表する)”は全て受動を意味しているが、引用符のない例 (17)、(20)、(22) は通常受動文、引用符のある例 (18)、(19)、(21) は新型受動文と判断してしまいがちである。実際は、例 (17)、(18)、(22) は通常受動文であるが、例 (19)、(20)、(21) は新型受動文である。

3. 1. 1 置き換えによるテスト

“叫/让/给”受動構文や“把”構文⁵と変換することによって、ある受動文が新型受動構文ではないことをテストできる⁶。

(18) 我被（他）消費了。[通常] 〈私は（彼に）利用された。〉

(18a) 対応する能動文：他消費了我

(18b) “叫／让／给” 受動構文：我 {叫／让／给} 他消費了

(18c) “把” 構文：他把我消費了

(19) (市民) 被 (老板) (强迫) 消費 (商品) [新型、B 類]

〈(市民が店主に修理してもらえず新しいものを) 買わされる。〉

(19a) 対応する能動文：* 老板消費商品市民

同じ客觀的事態を表す能動文：老板强迫市民消費商品

(19b) “叫／让／给” 受動構文：? 市民 {叫／让／给} 老板消費商品

(19c) “把” 構文：* 老板把市民消費商品

(20) (他) 被 (朋友) (说成) 买了房。[新型、普通の A 類]

〈(彼は買っていないのに友達に) 家を買ったことにされた。〉

(20a) 対応する能動文：* 朋友买了房他

同じ客觀的事態を表す能動文：朋友说他买了房

(20b) “叫／让／给” 受動構文：? 他 {叫／讓／给} 朋友买了房

(20c) “把” 構文：* 朋友把他买了房

通常の受動文は対応する能動文を持ち、一般的に“叫／让／给”受動構文、“把”処置構文に置き換えられるが、新型受動構文は対応する能動文を持たず、“叫／让／给”受動構文、“把”処置構文に置き換えることもできない（池昌海, 周晓君2012:60 索琮2011:27）。しかし、新型の場合も、能動文によって同じ客觀的事態を表すことはできる。

(18) と (19) はいずれも「NP₁ + 被 < + NP₂ > + 他動詞」という形式だが、その意味構造は異なる。通常の受動構文は NP₁ (受動者) + 被 + < NP₂ (V の動作主) > + V_{他動詞} という構造だが（杜澄宇 2012:17）、新型受動構文は NP₁ (X の受動者或いは動作主) + 被 + 「NP₂ (V の動作主)」+ {V_{認定 / 强迫}} + X_{他動詞} (句) という構造を持っている⁷（池昌海, 周晓君2012:56-60）。つまり、この新型受動構文は、意味上“被”に後続するはずの強迫・認定類の他動詞“V_{認定 / 强迫}”が明示されないため、通常の受動構文と同じ形態になるのである。他動詞“V_{認定 / 强迫}”を明示すれば、能動文によって表すこともできる。

3. 1. 2 新型の基準—二つの観点から

では、どのような基準で両者を区別できるであろうか。まず、主語が動作主である場合は、通常の受動文ではなく、新型受動文であると判断できる。例 (19) は、文脈から“被消費”の主語 NP1 が“市民”であろうということがわかり、“消費”の動作主であるため、新型と判断できる。また、“被消費”全体をひとかたまりとして主語の位置にすえ、これが「最も大きな問題になっている」ことは、動作主 NP1 にとって“消費”という行為が望ましくないことを示しており、“被強

迫消費（消費させられる）”という非意図性をが読み取れる。例（20）では、動作“买（買う）”の対象は“房（家）”だが、“房”が主語の位置に置かれていない。さらに（20）では、“是 A 还是被 A（A か、それとも、被 A か）？”の形で使われていることから、A であれば“被 A”ではない、つまり“被 A”は A の否定であることがわかる。すなわち“被买了房”は“买了房（家を買った）”の否定であり、「家を買ったのは事実ではない」ということを意味している。ここには話者の否定的判断が含まれているため、例（20）は新型受動文であると判断できる。

他の例（17）、（18）、（21）、（22）は主語が全て受動者であり、この点だけでは区別できない。しかし、意味特徴から、例（21）は他の三例（17）、（18）、（22）と異なり、新型受動文であると判断できる。

例（17）、（18）、（22）が新型であるためには、非事実性が非意図性を備えていなければならないが、いずれも動作主の非意図性はないため、あとは非事実性の有無ということになる。例（17）が通常受動文であることは明らかである。なぜなら、“偷（盗む）”の後に方向補語“去（去る）”および助詞“了（完了）”があるので、盗むという行為がすでに行われ、動作対象に何らかの位置変化が起きているからである。例（18）も、助詞“了”は消費するという行為が過去のある時点で行われたことを表し、主語“我（私）”はその行為の受け手であるため、通常受動文であることがはっきりしている。

例（21）、（22）の“被代表”はいずれも否定詞“不（ない）”を含み、主語“人民（人民）”“艺术家（芸術家）”が動作“代表（代表する）”の受け手であるが、前者は新型受動文であるのに対し、後者は通常受動文である。例（22）では、能動形の“代表别人（他人を代表する）”と受動形の“被（别人）代表（（他人に）代表される）”が並列されており、受動の意味のみを表すため、通常受動文であると判断できる。一方、例（21）では、文脈から、人民の意見が聞かれないと人民は「“被代表”というひどい目にあう」ことがわかる。この“被代表”は“人民（没有被人大代表代表却）被（媒体）说成被人大代表代表了（人民が全人代の代表に代表されていないのに（メディアによって）代表されていることにされた）”ということになる。このような否定的意味を持つのは新型受動構文である。以上の分析からわかるように、例（21）、（22）の“被代表”は形式が同じだが、意味構造が異なる。新型は“NP₁+ 被 +NP₂+ 说成（と言われる）/ 弄成（とされる）/ 认定成（と見なされる）+ 被 +NP₃+ 他動詞”という意味構造を持ち、内部に“被”が二つあり、“被”に関連する名詞句が三つある。例（21）の場合、NP₁は“人民”、NP₂は“媒体”、NP₃は“人大代表”に相当する。一方、通常形である例（22）は“NP₁+ 被 +NP₂+ 他動詞”という意味構造を持ち、“被”を一つしか持たず、“被”に関連する名詞句は二つしかない。NP₁は“艺术家”、NP₂は“别人”に相当する。

三種類の受動文（20）、（21）、（22）を比較すれば、表 1 のようにまとめることができる。

（20）他被（朋友说成）买了房。[新型、普通の A 類]

（21）人民“被（媒体说成被人大）代（表）代表”。[新型、特殊 A 類]

（22）艺术家被（别人）代表。[通常]

表1 三種類の受動構文における名詞句

種類	構文に関連する名詞句	“被”に関連する名詞句	動詞に関連する名詞句
普通類 例 (20)	三つ : NP ₁ 他 /NP ₂ 朋友 /NP ₃ 房	二つ : NP ₁ 他 /NP ₂ 朋友	二つ : NP ₁ 他 /NP ₃ 房
特殊類 例 (21)	三つ : NP ₁ 人民 /NP ₂ 媒体 /NP ₃ 人代	三つ : NP ₁ 人民 /NP ₂ 媒体 /NP ₃ 人代	二つ : NP ₁ 他 /NP ₃ 人代
通常 例 (22)	二つ : NP ₁ 艺术家 /NP ₂ 別人	二つ : NP ₁ 艺术家 /NP ₂ 別人	二つ : NP ₁ 艺术家 /NP ₂ 別人

構文に関連する名詞句の数に関しては、特殊類は普通類と同じであるため、両者を区別することはできない。また、動詞に関連する名詞句の数に関しては、三者はいずれも二つである。“被”に関連する名詞句の数は、特殊類だけが三つ持っているため、特殊類を普通類や通常の受動文と区別する基準になる。特殊類を他の両者と区別する点から、本稿は「内部に“被”が二つあり、“被”に関連する名詞句は三つある」としている。

以上のように、特殊 A 類は通常の受動構文と同様に受動者が主語になっているため、区別することがいっそう困難になる。特殊 A 類と通常形の区別の例をさらに示そう。

(23) 哈尔滨女子建设银行卡 1 万元莫名“被消费”

(东北新闻网2013-12-05) [新型、特殊 A 類]

〈ハルビン女性の建設銀行カードにある 1 万元は（本当は使われていないのに銀行によって）使われたことにされた。〉

(24) “被统计”也是一种幸福和权利。(中国中央电视台2009-05-05) [通常]

〈(国民平均所得の統計に低所得者が含まれていないという中国の現状において、低所得者が政府に) 統計されることも一種の幸福と権利である。〉

例 (23) “1 万元・被消费”と例 (24) “低收入者・被统计”はいずれも主語“1 万元（1 万円）”“低收入者（低所得者）”が他動詞“消费（消費する）”“统计（統計する）”の表す動作の対象であり、引用符もついている。文脈からわかるように、例 (23) “1 万元・被消费”が表す意味を明示的に言い換えると“1 万元（没有被女子消费却）被银行说成被女子消费了（1 万元は女性によって消費されたわけではないのに、銀行によって消費されたことにされた）”であり、二つの“被”と、それに関連する名詞句が三つある。NP₁は“1 万元”、NP₂は“銀行”、NP₃は“女子”に相当する。したがって、例 (23) は特殊 A 類であると判断できる。それに対し、例 (24) “低收入者・被统计”は、“低收入者（作为统计对象之一）被政府统计进去（低所得者が統計対象の一つとして政府に統計される）”という受動の意味のみを表している。“统计”という動作の対象である NP₁“低收入者”及び主体である NP₂“政府”以外に、“被”に関係する名詞句は存在せず、“被”が一つしかないため、通常の受動文と判断できる。つまり、特殊 A 類は他動詞の動作主および対象だけでなく、さらに

“被”が一つ増えて認定する動作主が加わったため、通常の受動文より“被”に関係する名詞句が一つ増えるのである。

沈家煊（2010：94）は“被采访”のような本稿での特殊 A 類が新型受動構文の中に存在すると指摘したが、特殊 A 類の用法が新型受動構文の中にどの程度あるのか、および特殊 B 類が存在するかどうかに関する研究はいまだにないようである。そこで、本稿は百度ニュース検索、鳳凰博客および天涯論壇から、よく使用される五つの他動詞“代表、录取、统计、消费、喜爱（好く）”を含む新型受動文を網羅的に抽出し、A 類および B 類の使用状況を調査し、その結果を表 2 にまとめた。カッコ内の数字は各他動詞を含む新型受動文の総数である。

表 2 新型他動詞受動構文の下位分類の使用実態

分類		動詞		代表 (330)		录取 (5)		统计 (11)		消费 (99)		喜爱 (6)	
				数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率
A 類	普通			1	0.30%	0	0%	0	0%	9	9.09%	3	50%
	特殊			329	99.70%	5	100%	11	100%	4	4.04%	3	50%
B 類	普通			0	0%	0	0%	0	0%	86	86.87%	0	0%
	特殊			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

表 2 からわかるように、“消费”を除いて他の動詞はすべて B 類より A 類の方が数が多く、比率も高い。これは A 類の方が多いとする先行研究（杨巍2012：93）に一致している。また、A 類の下位分類に関しては、“消费、喜爱”以外の動詞は全て特殊類の方が普通類よりはるかに数が多く、比率も高かった。特殊 A 類は、先行研究では普通の A 類と区別されず、あるいは例として“被采访”の場合だけが指摘されているにすぎないが、今回の調査によって特殊 A 類の用法が他の動詞でも多いことがわかった。さらに、特殊 B 類が存在しないことが明らかになった。すなわち、主語が動作主である場合は A 類と B 類の両方があるのに対し、主語が受動者である場合は A 類しかないということである。

要点をまとめると、意味上からは、「NP₁+被<+NP₂>+他動詞」によって話者の否定的判断（非事実性か非意図性のどちらか）を表すのが新型受動構文であり、そのような意味がないものは通常の受動構文である。より具体的な基準には、以下の二つが考えられる。（1）「NP₁+被<+NP₂>+他動詞」の主語 NP₁が他動詞の動作主である場合は、新型受動構文である。（2）主語 NP₁が受動者である場合は、形式上通常の受動構文と同じになるため区別ができないが、その意味構造の中に、二つの“被”があるかどうか、つまり“被”に関連する名詞句が三つあれば新型と判断する。

3. 2 形式の特徴

新型受動構文は形式的にも通常の受動構文と異なる特徴があるかを以下に考察する。

(25) 鲁迅的小说被翻译成许多国家的文字。(刘月华他1991:646) [通常]

〈鲁迅の小説は多くの国の言葉に翻訳されている。〉(刘月华他1991:646)

(26) 彭丽媛为什么被大众喜爱? (56网2013-03-09) [通常]

〈彭麗媛はなぜ大衆に好まれているのだろうか?〉

(27) 本山大叔, 你原来是“被喜欢”? (华西都市报2010-01-13) [新型、特殊 A 類]

〈なんだ、本山さん、あなたは(みんなに好かれていないのに中央テレビ局に)好かれて
いるということにされたのか。〉

(28) 银行收费名目多 市民无奈“被交纳” (新浪网2010-08-31) [新型、B 類]

〈銀行は料金を取る口実が多く、市民はしかたがなく納めさせられる。〉

それぞれの文脈を分析し、例(25)、(26)は通常受動文、例文(27)、(28)は新型受動文であると判断するのは容易である。新型は通常他動詞受動構文と誤解される恐れがあるため、表記上引用符が必要不可欠である(王淑华, 杨仁君2011:48)という考え方もある。新型受動構文に使われる引用符には、特別の意味或いは新用法を強調する役割(王淑华, 杨仁君2011:48、汪敏锋2011:55)や、否定的或いは風刺的な意味を表す役割(王寅2011:19)もあるといえるだろう。通常他動詞受動文にも引用符がつくものが稀にあるが、それは特殊な意味を強調するためであると考えられる。たとえば、例(18)の動詞“消費”の対象は通常、金・物・時間・エネルギー・サービスなどであるが、この場合は人なので、引用符が使われたと思われる。例(24)では、国民平均所得の統計において、低収入者も国民の一員として含まれるべきであるのに、そうされていないという現状から、“被统计”と強調する役割がある。それに対して、新型他動詞受動文にも引用符が付いていないもの、たとえば例(9)、(14)、(15)、(20)がある。それは使用頻度が高いために新型としての用法が定着したり(例(9))、明らかに通常受動構文と誤解される恐れがなかったり(例(14)、(15)、(20))するためであると考えられる。すでに汪敏锋(2011:55)が指摘しているように、新型受動文は最初に出てきた際は必ず引用符がついているが、よく使用されるようになると中国語語彙の一員として独立の地位を得て、引用符がなくても新型受動文であると判断されるので、最終的に引用符がなくなるのである。

新型受動構文に引用符がついていないものがあるが、その比率は極めて低い。本稿は先に述べた表2と同様、百度ニュース検索、鳳凰博客および天涯論壇から、“代表、录取、统计、消费、喜爱”を含む受動文を抽出し、通常と新型の受動文の数およびそれぞれ引用符がついているかどうかを調査し、その結果を表3にまとめた。

表3 通常と新型の他動詞受動構文に現れた引用符の数及び比率

他動詞 引用符	代表 (458)		录取 (1675)		统计 (263)		消费 (403)		喜爱 (149)	
	通常 (128)	新型 (330)	通常 (1670)	新型 (5)	通常 (252)	新型 (11)	通常 (304)	新型 (99)	通常 (143)	新型 (6)
数	9	211	1	3	0	11	18	88	17	6
比率	7.03%	63.94%	0.06%	60%	0%	100%	5.92%	88.89%	11.89%	100%

表3からわかるように、“代表”を除いて、他の他動詞は全て新型受動構文よりも通常の受動構文で用いられる方がはるかに多い。また動詞“喜爱”以外は全体的に新型受動構文の方が引用符の数および比率ともにはるかに高いが、両構文ともに引用符がつくものがあるということから、引用符の有無によって、両者を区別することができないということがわかった。

また、通常の受動構文は“被”の目的語が省略できるが、新型受動構文は“被”に目的語が決した後続しないとする見方がある（池昌海，周晓君2012:56-57）。一方、“被”と“X”の間に目的語が入る例文もあるという指摘もある（杨巍2012:94）。実際はどうであろうか。表4に百度ニュース検索、鳳凰博客および天涯論壇から、収集したデータを分析した結果を示す。

表4 “被”の目的語が通常と新型の他動詞受動構文に現れた数及び比率

他動詞 目的語	代表 (458)		录取 (1675)		统计 (263)		消费 (403)		喜爱 (149)	
	通常 (128)	新型 (330)	通常 (1670)	新型 (5)	通常 (252)	新型 (11)	通常 (304)	新型 (99)	通常 (143)	新型 (6)
数	6	14	366	0	3	0	23	0	22	0
比率	4.69%	4.24%	21.92%	0%	1.19%	0%	7.57%	0%	15.38%	0%

表4からわかるように、“被”の目的語は、“代表”を除き、新型受動構文では全く現れていない（そもそも通常の受動構文でもあまり表れていない）が、“代表”に関しては、通常の受動構文と同じ比率で出現している。“代表”のような動詞については、数が少ないとはいえ、「NP₁+被+他動詞」のみならず、「NP₁+被+NP₂+他動詞」も「同形異構」になりうる。以下に実例を挙げる。

(30) 我们究竟被谁“代表”了也不知道。（太湖明珠网2013-05-28）[新型、特殊A類]

〈私たちはいったい誰に代表されたことにされたかさえわからない。〉

(31) 我们不要去代表别人，也不要被别人代表。（天涯杂谈2013-08-17）[通常]

〈私たちは他人を代弁しない、他人にも代弁されたくない。〉

3. 3 語用論的特徴

形式のみならず、新型他動詞受動構文は通常の他動詞受動構文と異なる語用論的特徴も持っている。程俊(2010:80)は通常の受動構文が書き言葉でも話し言葉でも使用されるのに対し、

新型受動構文はインターネットから使われ始めたもので、話し言葉にはほとんどないと述べている。また、新型受動構文の使用コンテキストについて、周錦国（2011：17）は主にインターネットと新聞や雑誌の見出しの二つであると指摘している。さらに、楊巍（2012:93）は、新型受動構文は見出しやタイトルに大量に現れ、見出しにはあっても本文にないことがよくあるとしている。では他動詞に限ると、見出しに使われる比率はどうであろうか。百度ニュース全文検索で収集したデータを整理した結果を表5に示す。

表5 通常と新型の他動詞受動構文の見出しに現れた数及び比率

総数	代表 (177)		录取 (443)		統計 (184)		消費 (267)		喜爱 (121)	
	通常 (46)	新型 (131)	通常 (438)	新型 (5)	通常 (181)	新型 (3)	通常 (187)	新型 (80)	通常 (116)	新型 (5)
数	4	36	261	5	7	1	89	47	11	4
比率	8.70%	27.48%	59.59%	100%	3.87%	33.33%	47.59%	58.75%	0.86%	80%

表5からわかるように、“代表”を除いて他の他動詞は全て新型受動構文よりも通常の受動構文に現れるほうがはるかに頻度が高いが、見出しに現れた例文の比率は、新型受動構文の方が高い。これは先行研究の結論と一致している。しかし、見出しには新型が使われやすいとはいえ、通常の受動文も使われることは確かなので、新聞の見出しというコンテキストによって新型他動詞受動構文であるかどうかを確実に判断することはできない。

また、新型他動詞受動構文は、主語或いは話者の出来事に対しての否定的な考え、現実をからかう心的態度、人々の様々な暗い社会現象に対しての風刺的・批判的な気持ちを表している（王学群 2012:275-279）。たとえば、例（19）の“消費”という出来事に対しての否定的な考え（「本当は買いたくない」）、例（27）の「中央テレビ局が勝手に調査対象の意見をきめる」という社会現象に対しての批判的な気持ち（「個人の意見を聞いてほしい」）など、多くの例文で認められる。しかし、このような話者の婉曲的な批判的態度という語用論的含みは個人によって判断のずれが大きいということから、両構文を区別する明確な基準にはならないと考えられる。

4. おわりに

本稿は現代中国語における「被 + X_{他動詞}」という新型受動構文を通常の「被 + V_{他動詞}」受動構文と比較し、その意味的、形式的及び語用論的特徴から両者を区別する方法を提案し、新型受動構文を下位分類することを試みた。結論をまとめると、以下のようになる。

I. 判断基準：「NP₁ + 被 (<+NP₂>) + 他動詞」の場合

- （1）NP₁が他動詞の動作主ならば、新型と判断する。
- （2）NP₁が他動詞の受動者の場合、意味上“被”に関連する名詞句が三つ存在すれば、新型と判断する。

II. 新型他動詞受動構文の下位分類：

- (1) A 類 (被認定): a. 普通の A 類 (V したことにされる) b. 特殊 A 類 (V されたことにされる)
 (2) B 類 (被強迫): 普通の B 類のみ (V させられる)

今後は、“同形异构”の他動詞受動構文が共存する理由、動機付けを考察したい。

謝辞

本論文の査読において、匿名の査読者より懇切丁寧なるコメントをいただいた。この場を借りて謝意を申し上げる。

注

- 1 本稿で用いた例文の出典は () 内に入れて示す。言語資料は、通常受動構文は刘月华他の『現代中国語文法総覧』、北京大学コーパス (http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/) および百度 (<http://www.baidu.com/>) から、新型受動構文は(教科書や北京大学コーパスにないため)インターネット検索(百度、鳳凰博客 (<http://blog.ifeng.com/>) および天涯論壇 (<http://bbs.tianya.cn/>)) からとった。通常受動文であるか新型受動文であるか、および後述する新型受動文の意味分類 A 類と B 類の区別は出典の後の [] 内に入れて示す。なお、例文の日本語訳は < > で示し、その出典を記さない限り、筆者による。
- 2 “被(被る)”は動詞の前に用い、受身の動作であることを表す受動標識の一つである。中国語において、“被”以外の受動標識として、“叫(呼ぶ)/让(譲る)/给(与える)”などがある。なお、本論文中の中国語の用語には、基本的に初出の場合にのみ、その和訳を後続の () 内に入れて示す。“被”などの文法形式にはその語彙的意味を付す。
- 3 “多价性”とは、動詞と結合する必須項が二つ以上あることをいう。たとえば、“吃(食べる)”の結合項は食べる人という動作主体及び、食べるものという動作対象の二つがあるが、“笑(笑う)”の結合項は笑う人という動作主体のみである。“动结性”とは、動詞に結果の意味を含むことをいう。たとえば、“杀(殺す)”は“死(死ぬ)”という結果を内包しているが、“摸(触る)”は触れるという動作しか含意されていない。したがって、“吃”、“杀”はそれぞれ“多价性”、“动结性”という意味特徴を持つ動詞であり、受動文になるのに対し、“笑”、“摸”はそれぞれ“多价性”、“动结性”という意味特徴を持たず、受動文にならない。
- 4 “叫/让/给”は、「させる」という使役の意味及び「される」という受身の意味の両方を表すことができるが、どちらの意味を表すかは文脈によって決まる。
- 5 “把”構文、いわゆる「処置文」とは、前置詞“把”を用いて動作の対象を動詞の前におき、既存の特定の対象に対する積極的な働きかけを表す構文のことをいう。多くは、対象に何らかの状態変化や位置の移動を起こさせることを意図した動作を表すため、動詞はしばしば結果補語を伴う。
- 6 本稿では「*」はその表現が非文であることを、「?」はその文は成立するが、もとの文と異なる意味を表すことを示すものとする。
- 7 本稿では < > はその中の成分が省略できることを意味し、「 」はほとんど現れないことを、| | は表示されないことを意味する。

参考文献

- 王学群.2012.「中国語の“被留学”について」『日本語と中国語のヴォイス』.東京:白帝社:269-282.
 王妍.2011.「新词语“被 XX”语言现象研究」修士学位論文.中国:延边大学.
 王春杰.2012.「新被字构式的认知动因研究」修士学位論文.中国:河南大学.
 王淑华,杨仁君.2011.「关于“被自杀、被就业”等的语言学考察」『宁夏大学学报(人文社会科学版)』(7):

44-50.

- 王寅.2011.「“新被字句式”的词汇压制解析——对“被自愿”一类新表达的认知构式语法研究」『外国语』(3):13-20.
- 汪敏锋.2011.「新格式“被xx”的词化及演化」『安庆师范学院学报(社会科学版)』(2):52-56.
- 索琼.2011.「被字结构的配价理论研究及其他相关分析」硕士学位论文.中国:新疆师范大学.
- 周锦国.2011.「试论流行词语“被xx”结构能否进入语法层面」『毕节学院学报』(12):17-20.
- 邵平和,刘翠英.2010.「网络语境下“被”字的新用法研究」『济南职业学院学报』(3):107-111.
- 孙琪.2010.「基于“被自杀”的新老“被”字结构对比研究」『西安社会科学』(6):159-161.
- 孙莎莎.2011.「现代汉语新兴“被X”格式研究」硕士学位论文.中国:南京师范大学.
- 池昌海,周晓君.2012.「新“被+X”结构及其生成机制与修辞意图」『福建师范大学学报(哲学社会科学版)』(4):53-61.
- 陈全.2012.「现代汉语“被+X”结构研究」硕士学位论文.中国:扬州大学.
- 储兆芳.2010.「“被”字句与“被”组合的比较研究」『安徽文学(下半月)』(11):220.
- 程俊.2010.「现代汉语“被”字句与网络新创“被”字句的比对」『绵阳师范学院学报』(6):80-82.
- 郑霖.2012.「“被XX”的形成及相关问题」硕士学位论文.中国:宁波大学.
- 杜澄宇.2012.「新兴“被XX”构式研究」硕士学位论文.中国:南京林业大学.
- 范晓.2006.「被字句谓动词的语义特征」『长江学术』(6):79-89.
- 杨巍.2012.「另类“被XX”格式语义及应用分析」『常熟理工学院学报(哲学社会科学)』(3):91-95.
- 雷仁有,包朗.2013.「语言学视域下的被就业现象」『和田师范专科学校学报』(1):32-36.
- 刘杰,邵敬敏.2010.「析一种新兴的主观强加性贬义格式“被XX”」『语言与翻译』(1):26-30.
- 刘月华,潘文娉,故鞆著.相原茂監訳.片山博美,守屋宏則,平井和之訳.1991.『現代中国語文法総覧』.東京:くろしお出版.
- 吕佩.2013.「“被XX”组合研究综述」『菏泽学院学报』(5):66-69.